



日進工具株式会社

～超硬小径エンドミルのトップランナー～

2014年3月期 第3四半期決算概要



2014年1月31日
(証券コード6157)

目次

1. 2014年3月期3Qの業績

～ほぼ計画どおりの推移～

(進捗率:売上高74.1%、営業利益76.1%)

- P. 3 ... エグゼクティブサマリー
- P. 4 ... 3Qの重要なトピック
- P. 5 ... ホットな話題①～④
- P. 9 ... 売上高の推移
- P. 12 ... 売上総利益の推移
- P. 13 ... 販管費の推移
- P. 14 ... 経常利益の推移
- P. 15 ... 損益計算書サマリー及び貸借対照表サマリー

2. 2014年3月期の業績見通し

～期初計画を据え置き～

- P. 18 ... 業績予想見通し:期初計画を据え置き
- P. 19 ... 3Q時点における進捗状況について
- P. 20 ... 2014年3月期の重点戦略について①②

3. 最後に、マーケットの皆様へ

- P. 24 ... 株主還元について(増配)
- P. 25 ... 流動性の向上に注力
- P. 26 ... 一層開かれた株主総会を目指して
- P. 27 ... 株価推移とバリュエーション
- P. 28 ... お知らせ!
「THE 世界一展～極める日本!モノづくり～」
- P. 29 ... IR情報サイトのご案内

<参考資料>

- P. 30 ... ①創業時からの売上高・経常利益推移
- P. 31 ... ②過去5年間の業績と主要データの推移
- P. 32 ... ③収益性、④安全性・効率性
- P. 34 ... 2014年3月期のIR活動目標
- P. 35 ... IR活動の実践状況について(2013年12月末)



1. 2014年3月期3Qの業績

エグゼクティブサマリー（3Qまでの累計ベース）

売上高はほぼ計画どおり、利益面でも
前年同期を上回り、進捗率も順調

(百万円)

	2013年3月期 第3四半期	2014年3月期 第3四半期	通期予想	進捗率
売上高	4,585 (+4.1%)	4,700 (+2.5%)	6,340 (+5.7%)	74.1%
営業利益	720 (-16.9%)	761 (+5.6%)	1,000 (+8.5%)	76.1%
経常利益	745 (-18.7%)	786 (+5.5%)	1,020 (+7.2%)	77.1%
四半期純利益	429 (-19.4%)	498 (+16.0%)	620 (+17.5%)	80.3%

※()内は前年同期比増減率

- 自動車関連が堅調に推移した他、電子部品関連もスマートフォンの新商品による押し上げ効果等から増加傾向となり、売上高は順調に推移した。
2Q累計ベースでは前年同期を下回っていたが、3Q累計では尖閣問題等から頭打ちとなった前年同期を2.5%上回った。
- 売上高、売上総利益ともに前年同期を上回り、売上総利益は2.2%の増加。販売管理費が0.5%の増加に止まったことから、営業利益は前年同期比5.6%増の761百万円。
- 通期予想に対する進捗率は、売上高が74.1%とほぼ期間どおりの水準だが、各利益は76.1%～80.3%と進んでいる。

2014年3月期3Qの重要なトピック

1. 3Qは四半期ベースで過去最高の売上高を記録

- 国内が自動車関連、スマートフォンやLED関連向けに伸びる
- 海外は中国・アジア向けが伸び悩む

2. 「NS東北 微細・精密加工展示会2013」開催

- 仙台工場開設20周年に当たり独自の展示会を開催

3. 流動性の向上を目的として立会外分売を実施

- 11月19日に155,000株（発行済株式の4.96％）の立会外分売を実施
⇒8月実施分と合わせ310,000株（発行済株式の9.9％）を実施

4. 日興アイ・アール ホームページ充実度ランキング受賞

- 日興アイ・アール 2013年度 全上場企業ホームページ充実度ランキングで総合「優秀サイト」、新興市場「最優秀サイト」を受賞

ホットな話題①

日興アイ・アール ホームページ充実度ランキング受賞

日興アイ・アール 2013年全上場企業ホームページ充実度ランキングで総合「優秀サイト」、新興市場「最優秀サイト」を受賞



～日興アイ・アール

全上場企業ホームページ充実度ランキングとは～

「分かりやすさ」「使いやすさ」「情報の多さ」の3つの視点で設定した、148の客観的な評価項目に基づいたランキングです

全上場企業3,556社のコーポレートサイトを対象としています

日進工具は全企業中157位

日進工具株式会社
NS TOOL CO., LTD.

HOME | トピックス | 製品情報 | 技術情報 | エンドミルとは? | 会社情報 | IR情報 | 採用情報

IR情報 Investor Relations

HOME > IR情報

IR情報

トップメッセージ
後藤弘治より皆様へのメッセージです

投資家の皆様へ
重要なコンテンツを集めてみました

個人投資家の皆様へ
IR宣言
最新決算報告
決算説明資料
IRカレンダー

IRニュース

2013年12月16日 [お知らせ] 11月29日開催 個人投資家向け会社説明会の動画を公開いたしました。
上記リンク先から動画をご覧いただけます。

2013年12月06日 [お知らせ] 日興アイ・アール「2013年度全上場企業ホームページ充実度ランキング調査」で総合「優秀サイト」新興市場「最優秀サイト」に選定
(533KB)
日興アイ・アール株式会社による「2013年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング調査」において、当社ホームページが総合ランキングの「優秀サイト」、新興市場ランキングの「最優秀サイト」に選定されました。当社では、今後もホームページでのIR情報発信に積極的に取り組み、質の向上・内容の充実に努めてまいります。

2013年12月03日 [IR資料] ベル企業レポート更新 (650KB)
(レポート発行元：株式会社日本ベル投資研究所)

2013年11月29日 [IR資料] 「ジャパニーズインバスター」誌・宝印刷(株)主催 個人投資家向け会社説明会を開催いたしました。(1,462KB)

2013年11月27日 [IR資料] 日本証券アナリスト協会主催 平成26年3月期アナリスト向け第2四半期決算説明会を開催いたしました。(808KB)

IR情報

IR情報トップ
トップメッセージ
個人投資家の皆様へ
経営方針・体制
事業戦略
業績・財務情報
IRライブラリー
IRイベント
株式情報
よくあるご質問
IRお問い合わせ先

動画

最新個人投資家説明会
5分でわかる日進工具
会社案内ビデオ

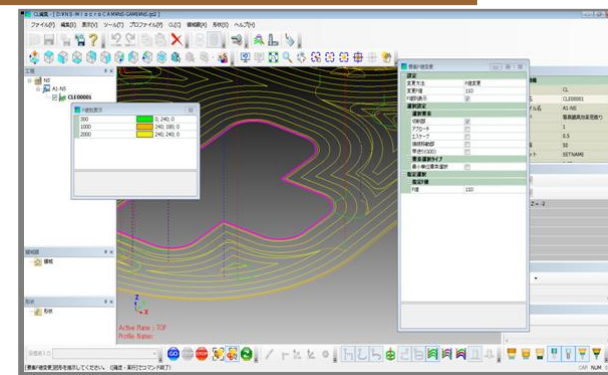
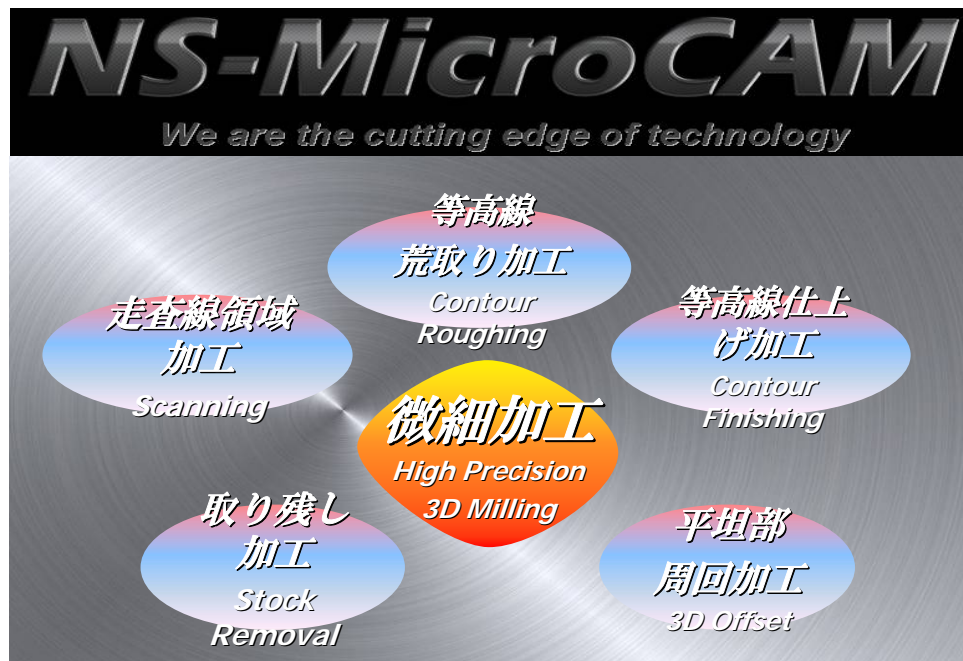
ホットな話題②

業界最先端の技術力を誇る

(2013年) 第5回ものづくり日本大賞【東北経済産業局長賞】を受賞

＜受賞製品 硬脆材微細切削加工システムの構築＞

PCD（ダイヤモンド焼結体）工具「PCDSE」と、
工具メーカーが考えた世界初のオリジナルCAD/CAMソフト「NS-MicroCAM」を利用し、
硬脆材の微細精密加工を可能とするシステムを構築

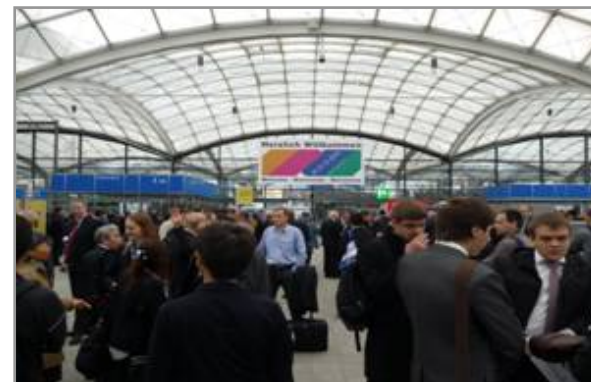
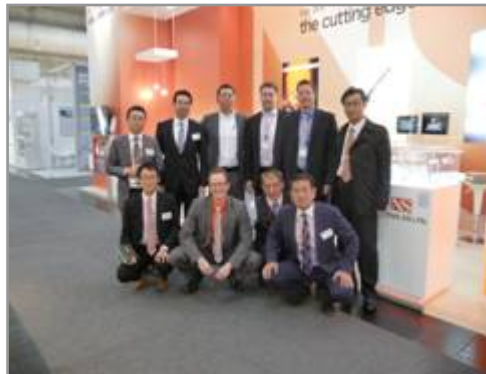


ホットな話題③ 積極的な展示会への出展（海外）

EMO Hannover 2013

（会期：2013年9月16日～9月21日 ドイツ ハノーバー ）

EMOとは：2年に一度ヨーロッパで開催される工作機械業界における世界最大の国際見本市

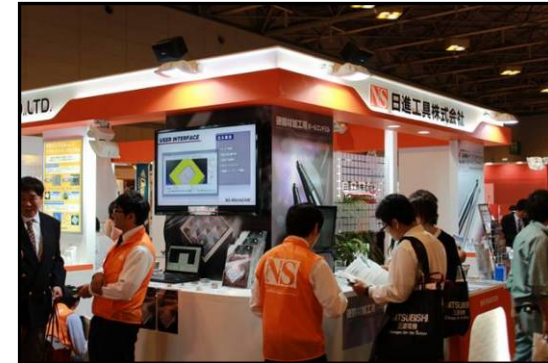


ホットな話題④ 積極的な展示会への出展（国内）

メカトロテックジャパン2013

（会期：2013年10月23日～26日 名古屋）

中部最大の工作機械を中心とした設備機器の専門展。
2年に一度開催され、今回で14回目の開催。



NS東北

微細・精密加工展示会2013

（会期：2013年11月8日～9日 NS仙台工場）

独自の技術で活躍されている東北地区のユーザー様や
工作機械、CAD/CAM、ツーリングといった精密・微細加工
に関連するメーカー様にご協賛いただき、当社仙台工場・
開発センターにて開催。

本展示会に係る協賛金、入場料、セール売上等は震災により
進学が困難になった子供達への支援を行っている
「みちのく未来基金」に全額寄付させていただきました。



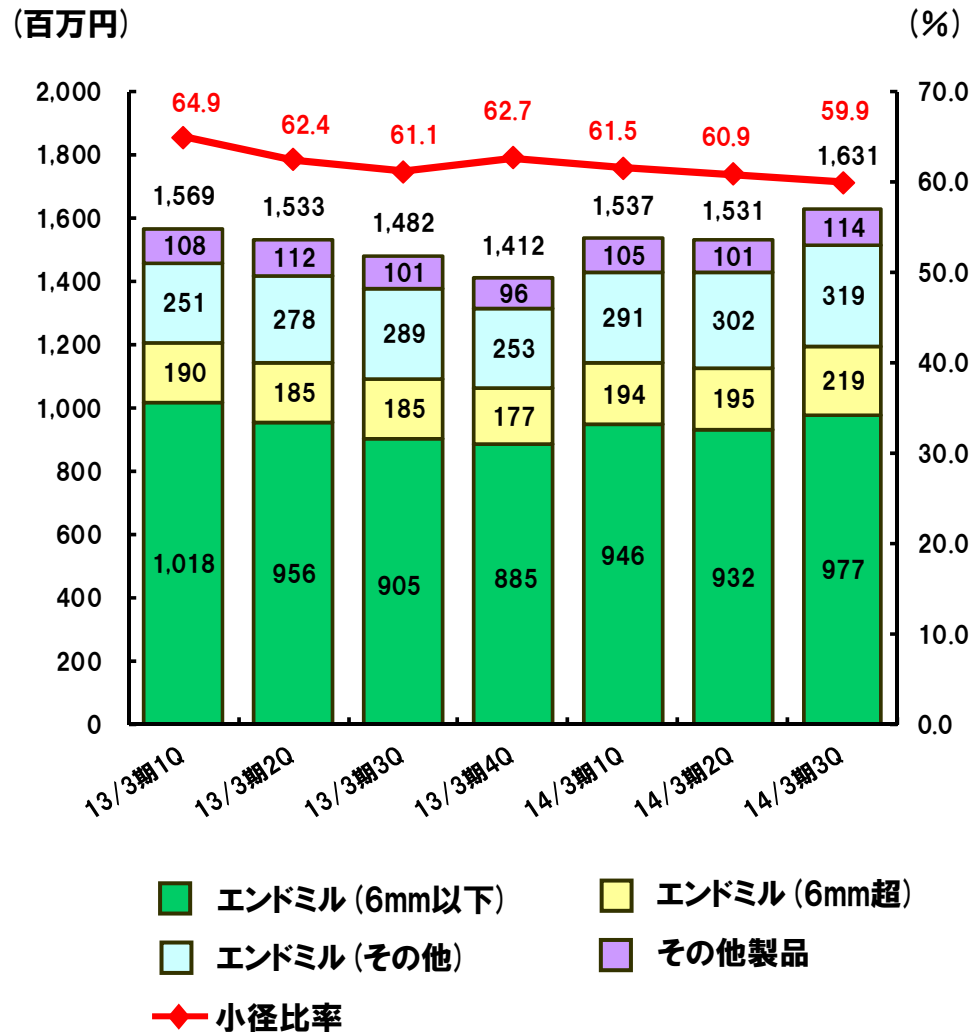
公益財団法人 震災遭厄に進学の夢を！

みちのく未来基金

<http://michinoku-mirai.org/>

売上高の推移① 製品別

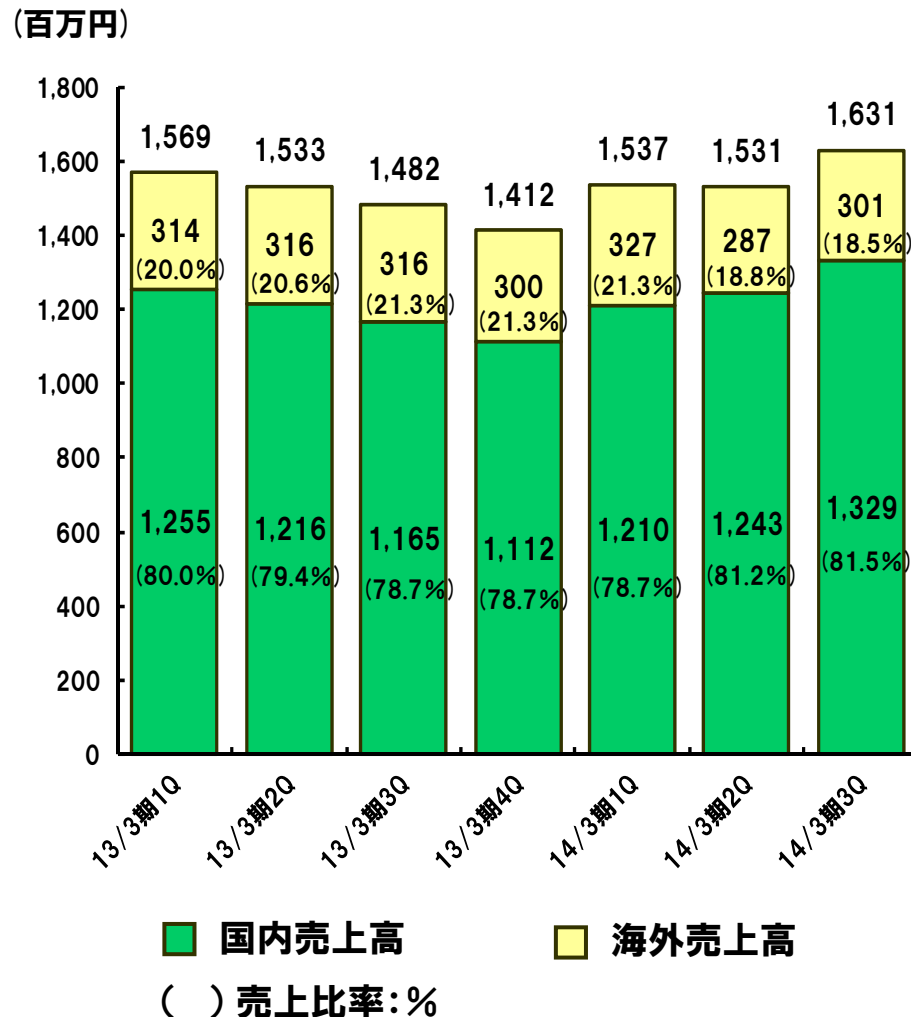
製品別売上高と小径比率の推移



- 当3Qの連結売上高は前年同期比10.1%増の1,631百万円。前年度1Qの1,569百万円を抜き過去最高、初の16億円台乗せ。
- 堅調な自動車関連に加え、スマートフォンやLED関連向け等が好調。
- 製品別では、主力の「エンドミル (6mm以下)」が977百万円と前年同期比7.9%増となったが、好調であったCBN製品や特殊品を含む「エンドミル (その他)」が10.4%増加したため、小径比率は59.9%とやや低下した。なお、当社のCBN製品は刃径2mm以下であるが、超硬製品と分けるため「エンドミル (その他)」に含めている。

売上高の推移② 国内・海外

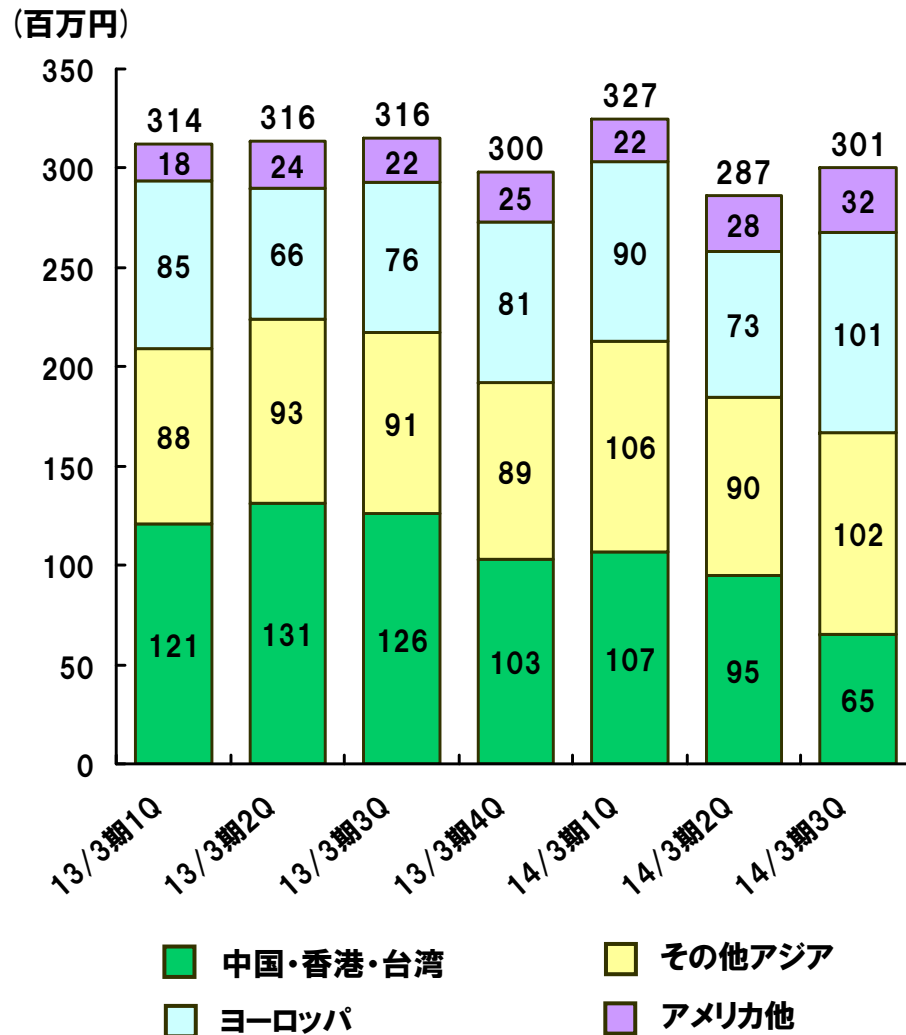
国内・海外売上高の推移



- 国内売上高は1,329百万円と前年同期比14.1%増であったが、海外売上高は同4.7%減の301百万円。
- 国内が自動車関連の好調等から3四半期連続で前期比プラスとなる一方、海外は中国・アジア地域向けが伸び悩み、2Q比ではプラスとなったものの、国内に比べやや厳しい展開。
- 海外売上高比率は18.5%と2Qに続き2割を割り込んだ。

売上高の推移③ 海外地域別

海外地域別売上高



□ 2Qに比べ、中国・香港・台湾を除いて各地域とも2桁の増加となったが、中国・香港・台湾の減少が大きく、全体では4.8%増の301百万円。

□ ただし、中国・香港・台湾向けは今年5月より営業をスタートした日進工具香港有限公司（NS香港）との連結の影響により少なくなっている面がある。

<参考>

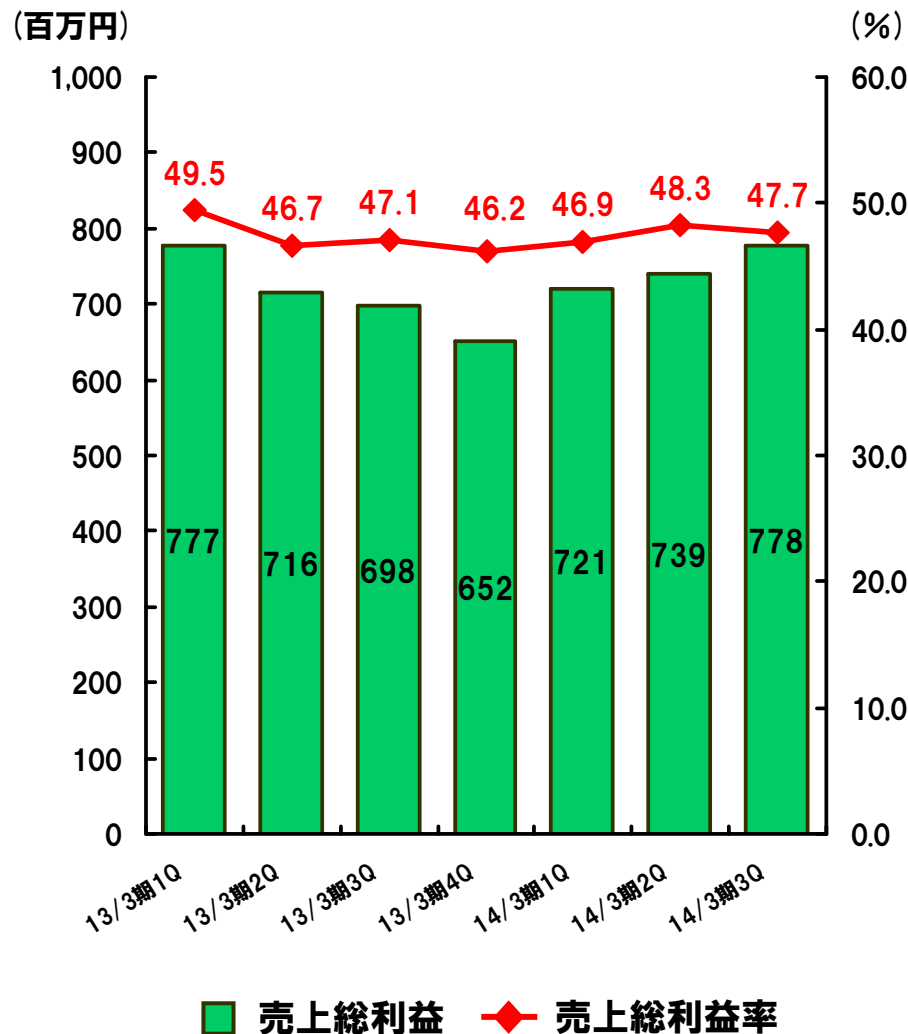
連結の影響を除いた同地域への当年度の各四半期における売上高

1Q 123 百万円
 2Q 119 百万円
 3Q 104 百万円

※NS香港は12月決算のため、連結に当たり3ヶ月のズレが生じる他、NS香港経由の販売スタート時期がディーラーによって異なることによりカウントされない期間が発生している。

売上総利益の推移

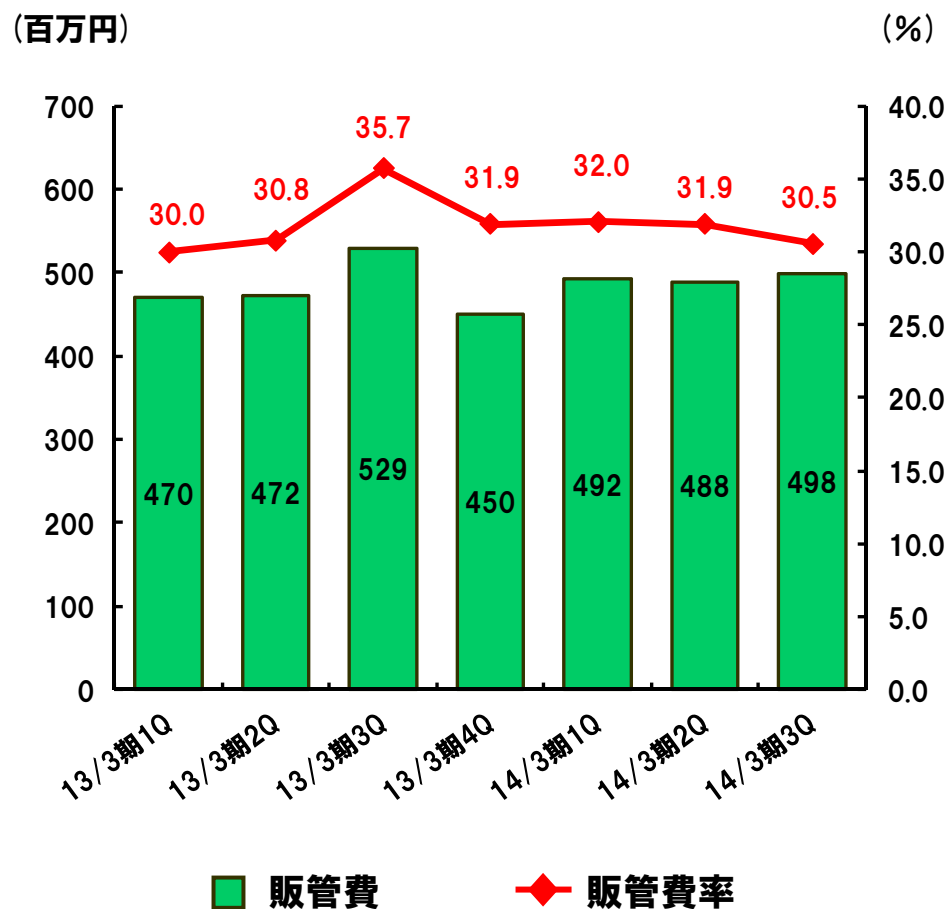
売上総利益と売上総利益率の推移



- 売上高アップにより、売上総利益も前年同期比11.4%増、2Q比5.3%増の778百万円と前年度1Qの水準を6四半期ぶりに回復。
- 生産数量は2Qと同水準を維持。子会社資産の一部を圧縮記帳したことにより減価償却費が10百万円減少し総製造費用としては減ったものの、販売数量増による製品在庫の減少、また生産効率化による仕掛品の減少により、売上原価が増加した。このため売上総利益率は、前期を0.6ポイント下回ったが、流れとしては回復傾向にあると考えられる。

販管費の推移

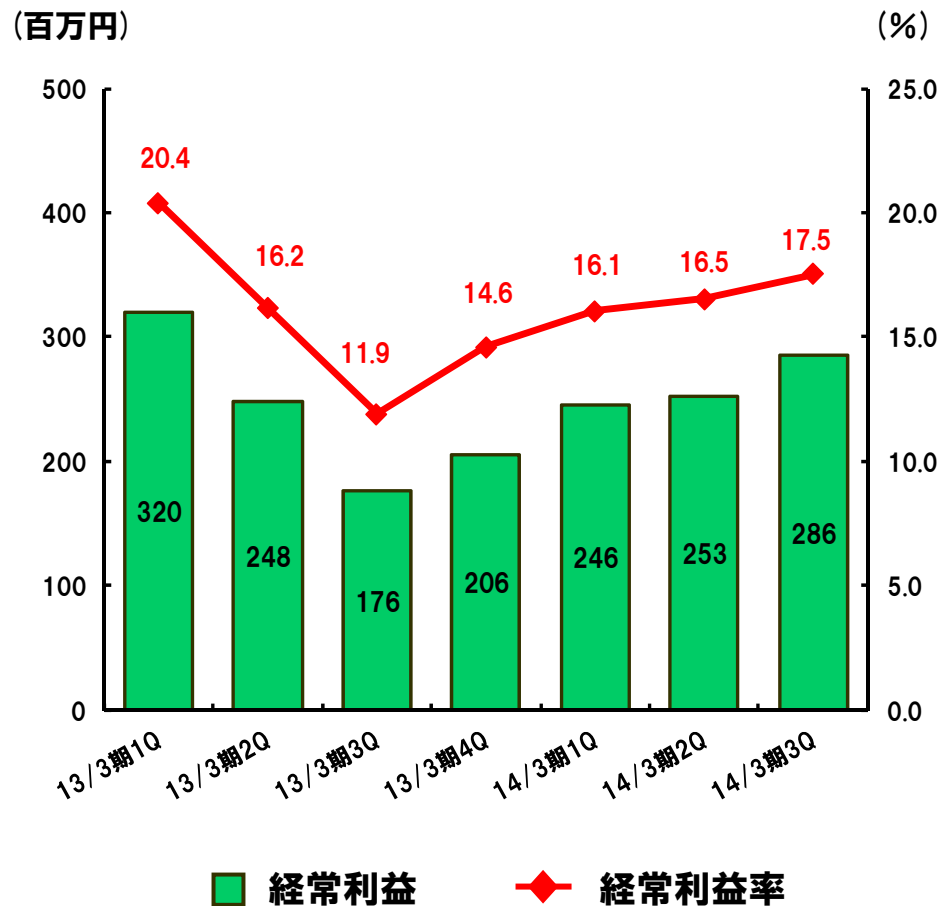
販管費と販管費比率の推移



- 販売管理費は、仙台工場で行った「NS東北 微細・精密加工展示会2013」の費用及び展示会開催に伴って実施した公益財団法人への寄附金等から、前期を上回る498百万円となった。
- 期初予算に対してはほぼ予定どおりの水準。売上高が堅調であったことから、販管費比率は30.5%と若干ながら低下。
- 4Qにおける販売管理費は、予算ベースで490百万円を見込む。

経常利益の推移

経常利益と経常利益率の推移



- 経常利益は前年同期比62.0%アップの286百万円。
(前年同期が尖閣問題等から厳しい状況となったこともあり大幅アップ)
- 売上高経常利益率は同5.6ポイント改善して17.5%。
- 経常利益は前年度3Qをボトムに金額・比率ともに回復傾向が続く。
- なお前年度1Qは増収と生産効率アップで利益額及び利益率ともに高水準であった。

損益計算書サマリー

(百万円)

	2013/3期3Q	2014/3期3Q	前年同期比	コメント
売上高	4,585	4,700	+2.5%	堅調な自動車向けに加えスマートフォン関連も好調。 CBN販売は高水準を継続
売上総利益(率)	2,191 (47.8%)	2,240 (47.7%)	+2.2%	増収により売上総利益は増加したが、 在庫の減少等もあり売上総利益率は47.7%と横ばい
販管費(率)	1,471 (32.1%)	1,479 (31.5%)	+0.5%	展示会費用や公益財団法人への寄付金があったもの の、前年同期並みの水準に収まり、販管費比率は低下
営業利益(率)	720 (15.7%)	761 (16.2%)	+5.6%	売上総利益増、販管費横ばいにより、 営業利益は前年同期比5.6%の増加、 営業利益率は0.5ポイント上昇の16.2%に
経常利益(率)	745 (16.3%)	786 (16.7%)	+5.5%	経常利益率も0.5ポイント上昇し16.7%に
当期純利益(率)	429 (9.4%)	498 (10.6%)	+16.0%	前年同期比16.0%増加し、 当期純利益率は10.6%と1.2ポイント上昇
設備投資額	874	361	-58.7%	子会社向け設備投資が一巡。 仙台工場での自動化ライン向けが中心
減価償却費	406	400	-1.6%	設備投資のピークアウトにより若干ながら減少
従業員数	270人	285人	+4.8%	子会社新工場稼動に伴う人員増と新卒採用により増加

※()は売上高に対する比率

貸借対照表サマリー

(百万円)

	2013/3	構成比	2013/12	構成比	前期比
(資産の部)					
I 流動資産	4,337	52.3%	5,144	59.9%	+18.6%
現金及び預金	1,913	23.1%	2,552	29.7%	+33.3%
受取手形及び売掛金	831	10.0%	953	11.1%	+14.6%
商品及び製品	820	9.9%	861	10.0%	+5.0%
II 固定資産	3,960	47.7%	3,437	40.1%	-13.2%
有形固定資産	3,654	44.0%	3,128	36.5%	-14.4%
無形固定資産	44	0.5%	27	0.3%	-39.1%
投資その他の資産	261	3.2%	280	3.3%	+7.3%
資産合計	8,297	100.0%	8,581	100.0%	+3.4%
(負債の部)					
I 流動負債	875	10.5%	742	8.7%	-15.1%
買掛金	99	1.2%	206	2.4%	+107.8%
II 固定負債	316	3.8%	355	4.1%	+12.5%
負債合計	1,191	14.4%	1,098	12.8%	-7.8%
(純資産の部)					
純資産合計	7,106	85.6%	7,482	87.2%	+5.3%
負債・純資産合計	8,297	100.0%	8,581	100.0%	+3.4%

- 子会社での「ふくしま産業復興企業立地補助金」受領により現金及び預金が増加、また、受領に伴い固定資産の圧縮記帳を実施したことにより有形固定資産が減少。
- 製品在庫は2Qに比べ35百万円減少したものの、日進工具香港での在庫確保により前年度末比では5.0%の増加。
- 無借金経営。
(有利子負債額はゼロ)
- 自己資本比率87.2%と強固な財務体質を維持。



2. 2014年3月期の業績見通し

業績予想見通し

2014年3月期の業績予想

(百万円)

	2013/3 実績	2014/3 予想	前期比	コメント
売上高	5,997	6,340	+5.7%	アベノミクスによる円高修正や景気回復期待、米国経済の堅調等を背景に増収を見込む
営業利益	921	1,000	+8.5%	売上総利益率は46.5%と0.9ポイント下がるが、増収により売上総利益は3.7%の増加を見込む。また販管費比率を31.0%に抑え、営業増益を見込む
経常利益	951	1,020	+7.2%	営業利益と同トレンド、営業外損益は特筆事項なし
当期純利益	527	620	+17.5%	前期先行投資から赤字となった子会社の業績改善を見込む
設備投資額	1,001	645	-35.6%	子会社新工場への投資で増加したが、今期は通常レベルに戻る計画
減価償却費	563	583	+3.5%	設備投資増加の影響が今期は通年におよぶため、減価償却費が上昇
EPS	168.75円	198.34円	+17.5%	当期純利益の項目を参照
1株当り配当金	39円	40円	+2.6%	配当性向20%を目標

3Q時点における進捗状況について

3Q実績は順調だが、通期予想は据え置き

(百万円)

	当3Q 実績	通期 予想	進捗率
売上高	4,700 (+4.2%)	6,340 (+5.7%)	74.1%
営業利益	761 (+5.6%)	1,000 (+8.5%)	76.1%
経常利益	786 (+5.5%)	1,020 (+7.2%)	77.1%
当期純利益	498 (+16.0%)	620 (+17.5%)	80.3%

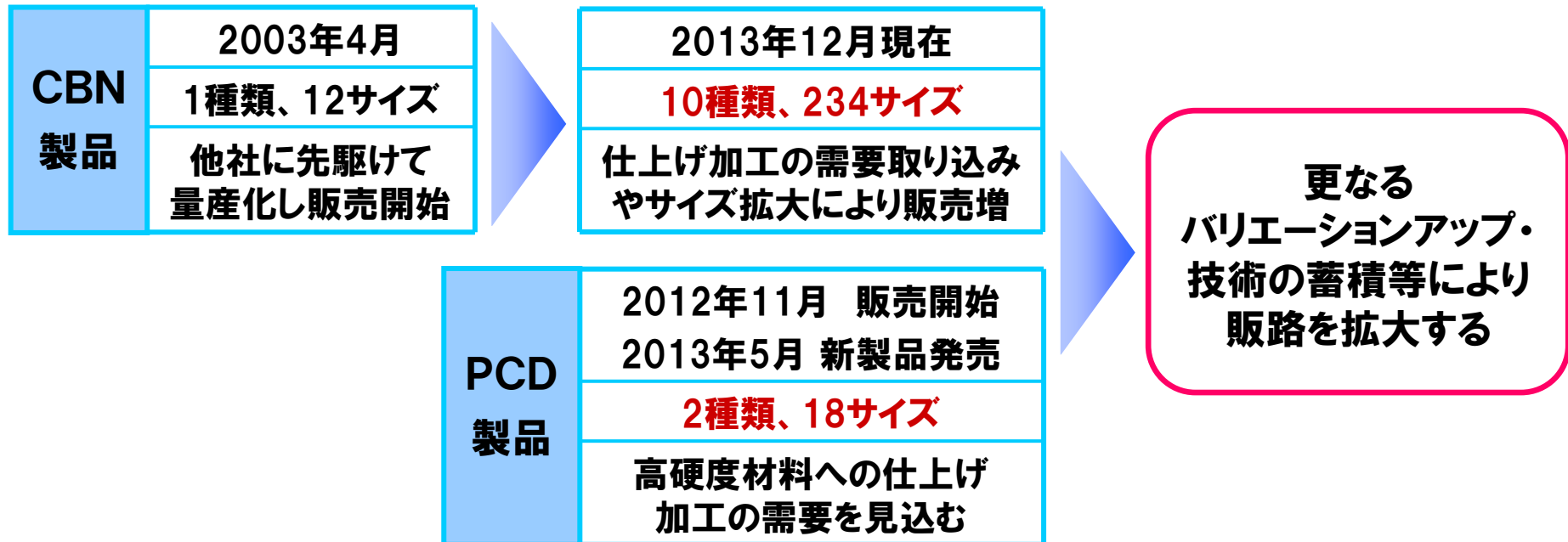
- 売上高は通期予想に対して74.1%の進捗率。
- 各利益は76.1%~80.3%の進捗率と、計画を若干ながら上回る。
- 国内景気の回復傾向が続くなか、底堅い米国経済等、比較的良好な外部環境が見込まれる一方、中国・アジア向けはやや不透明な要素があり、通期見通しは据え置き。

※()内は前年同期比増減率

2014年3月期の重点戦略について①

1. 高付加価値製品の販売強化

- CBN製品やPCD製品のバリエーションを増やすとともに、それらの特長を活かした加工方法や技術情報を充実させ、ユーザー層の拡大を図る



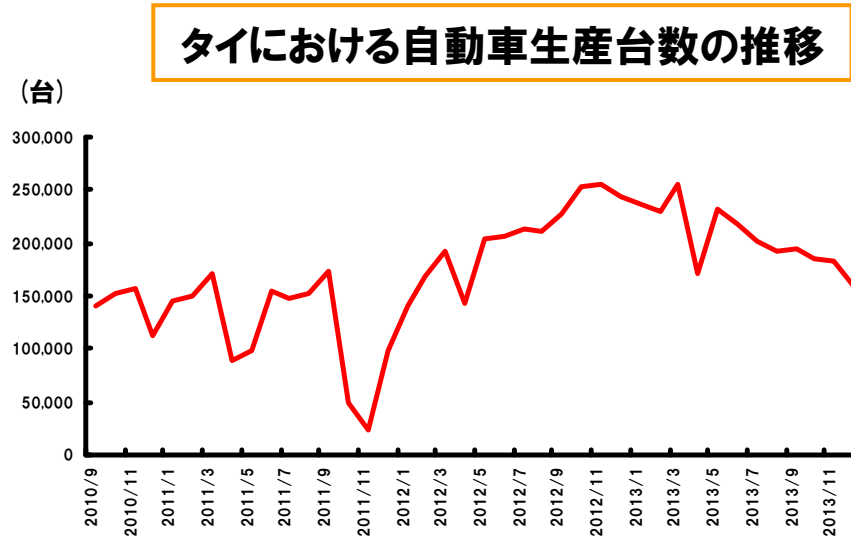
2. 商品力の見直し

- Made in Japanの性能と品質 ⇒ 精度・寿命・効率性などにおいて、より高い次元の製品を安定的に供給し、差別化を図る

2014年3月期の重点戦略について②

3. アジア販売強化

- 香港に在庫を持つことで、中国地域におけるデリバリーを改善し販売増を図るとともに、タイを中心にASEANにも注力する



4. コストダウンの強化

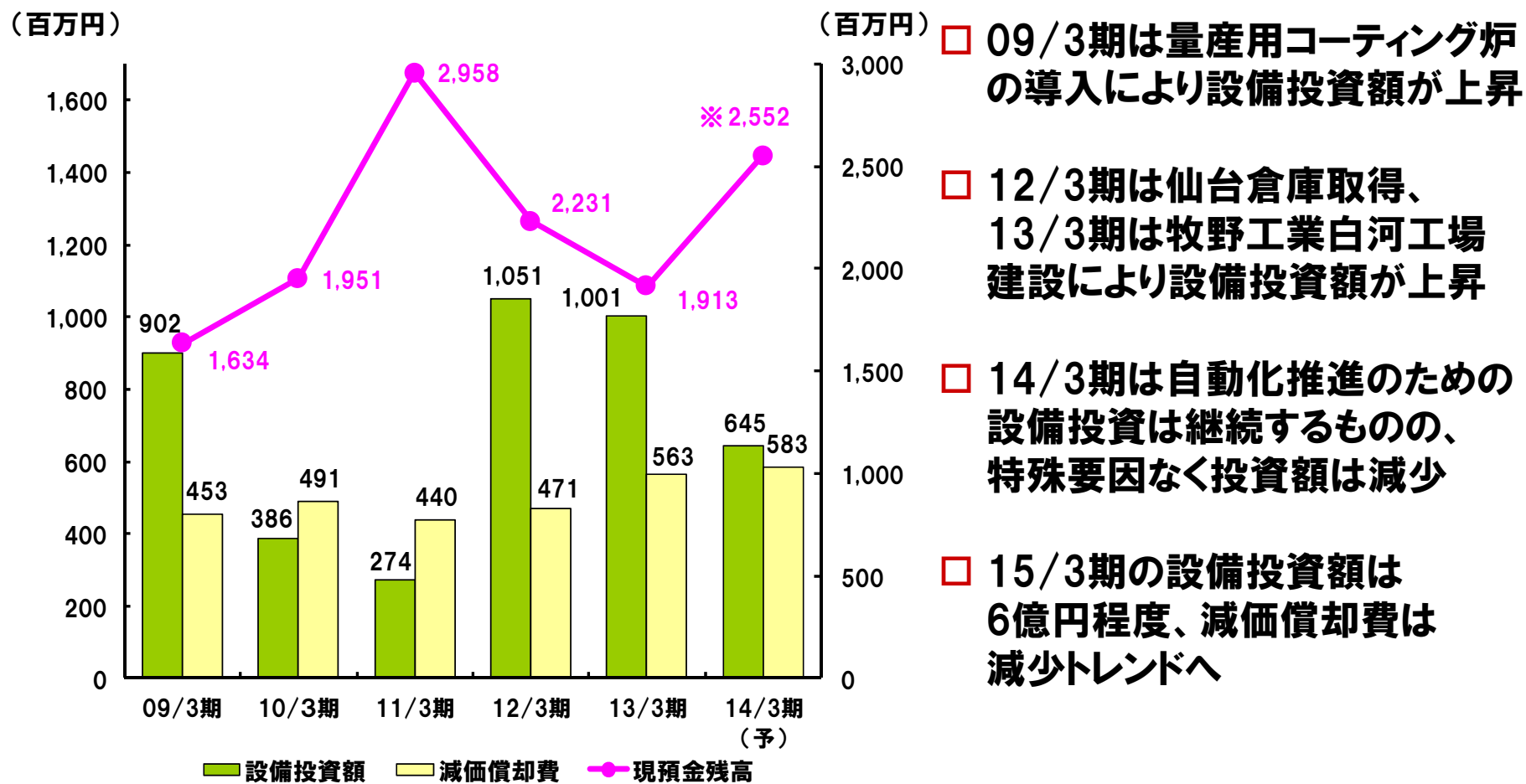
- 自動化や無人化等の製造面でのコストダウンに加え、販売管理費等についてもグループ全体で低減を図る

～自動化・無人化の進捗状況～

自社開発工具研削盤による自動化ライン ⇒ 更なる拡大へ

設備投資と減価償却費のトレンド

設備投資、減価償却費及び現預金残高の推移



(左軸:設備投資額・減価償却費、右軸:現預金残高)

※14/3期(予)における現預金残高3Q末の水準

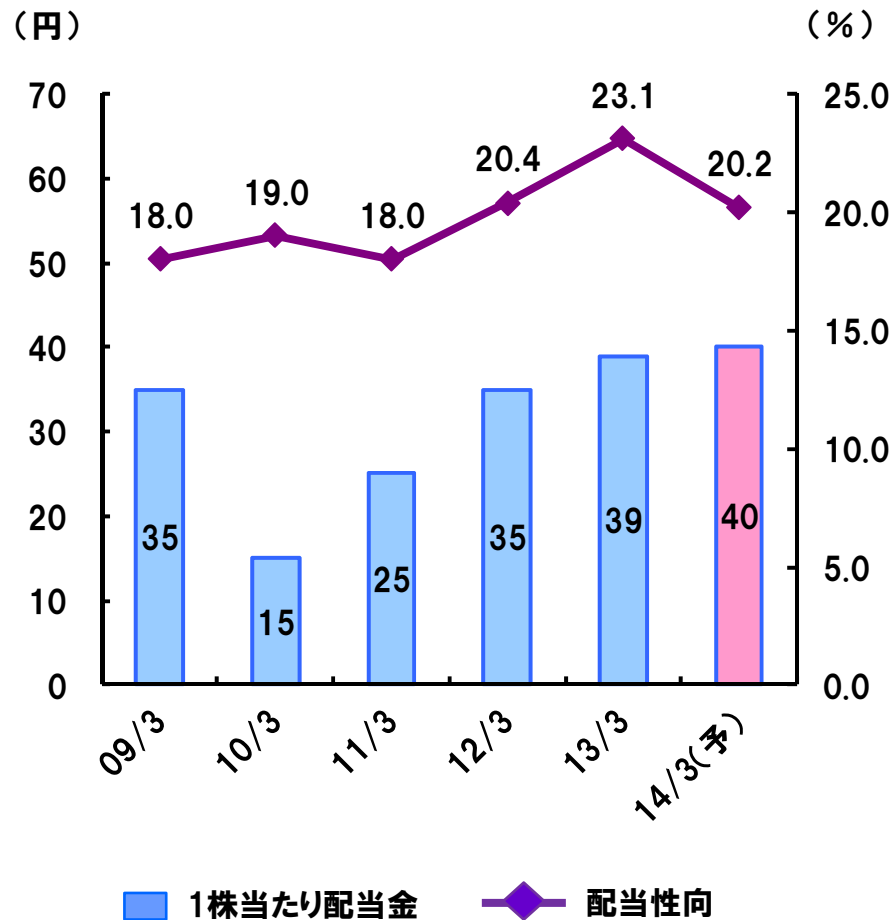
- 09/3期は量産用コーティング炉の導入により設備投資額が上昇
- 12/3期は仙台倉庫取得、13/3期は牧野工業白河工場建設により設備投資額が上昇
- 14/3期は自動化推進のための設備投資は継続するものの、特殊要因なく投資額は減少
- 15/3期の設備投資額は6億円程度、減価償却費は減少トレンドへ



3. 最後に、マーケットの皆様へ

株主還元について（増配）

配当・配当性向の推移



業績に応じた利益還元

（配当性向20%を目標）

- 2013年3月期は株式分割の際に配当を上方修正し、1株当り39円
- 2014年3月期は増益を見込むため1円増配し1株当り40円を予定（業績予想に対する配当性向は20.2%）

流動性の向上に注力

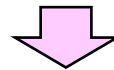
①株式分割を実施

- 2012年10月1日に1株 ⇒ 2株の株式分割を実施

②立会外分売を実施

- 8月と11月の2回にわたり、
310,000株（発行済株式の9.9%）の立会外分売を実施

従来からの経営課題であった「流動性」の改善を図り、
投資家の利便性向上へ



1日平均売買代金が大幅に増加
前3Q・・・1.87百万円 → 当3Q・・・9.26百万円

一層開かれた株主総会を目指して

第52期(2013年3月期)の株主総会の概要

開催日時	2013年6月22日(土) 10:30~11:30
会場	大森東急イン 5階 フォレストルーム (JR大森駅直結)
御土産	・ JCBギフトカード1,000円 ・ 海苔・海苔煎餅セット

第52期の株主総会について

1. 昨年度と同じく株主様のご来場しやすい土曜日に開催

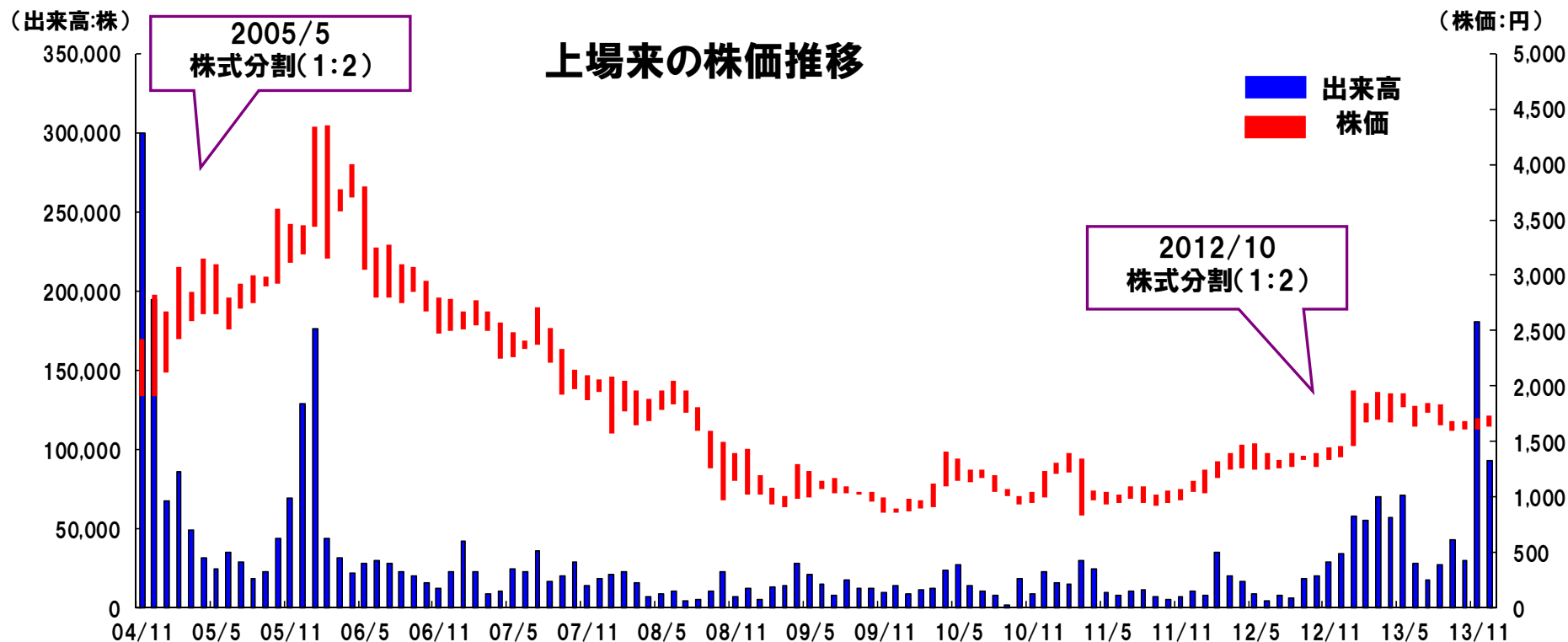
参加人数は68名となり、
昨年度に比べ19名増加いたしました

2. 活発な質疑応答

質疑応答では16件の質問があり、
全て代表取締役社長の後藤弘治が
お答えいたしました

第53期(2014年3月期)の株主総会も株主満足度の一層の向上を目指します

株価推移とバリュエーション



バリュエーション (2014年1月29日現在)

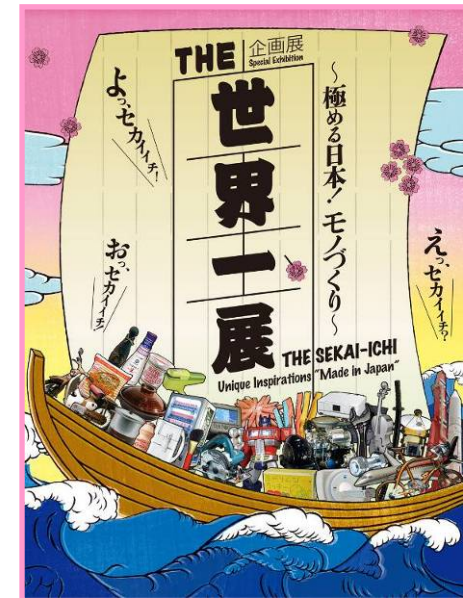
時価総額	: 55.7億円	自己資本比率(13/12期実績)	: 87.2%
PER(14/3期予想)	: 8.99倍	有利子負債依存度(13/12期実績)	: 0%
PBR(13/3期実績)	: 0.78倍	ROE(13/3期実績)	: 7.7%

お知らせ！

THE 世界一展 ～極める日本！モノづくり～

● 12月7日より、お台場の日本科学未来館で開催される企画展「THE 世界一展」にて、当社のマイクロねじ切り工具が紹介・展示されております。

● この展示会は、精巧で精密、おもてなしの精神に富んだ日本の「モノづくり」が生み出した製品・技術、200点以上が集結するものです。



- ◆ 開催期間：2013年12月7日（土）～2014年5月6日（火・祝）
- ◆ 場 所：日本科学未来館（東京・お台場）
- ◆ 後 援：文部科学省、経済産業省 他 ※ 入場料が必要となります。

IR情報サイトのご案内



メニュー表示

「トップメッセージ」、「よくあるご質問」、「IRお問い合わせ先」
⇒メニュー名クリックで各ページに移動します

それ以外はメニューにカーソルを合わせると各メニューの
詳細ページ項目が表示されます
(項目クリックで該当ページに移動できます)

投資家の皆様へ

投資家の皆様特にご覧頂きたいページをピックアップしています

IRニュース

適時開示情報や説明会のお知らせ、レポート更新など最新の
IR情報を掲載しています

「IRニュース一覧へ」をクリックすると、表示されていない過去の
IRニュースをご覧いただけます

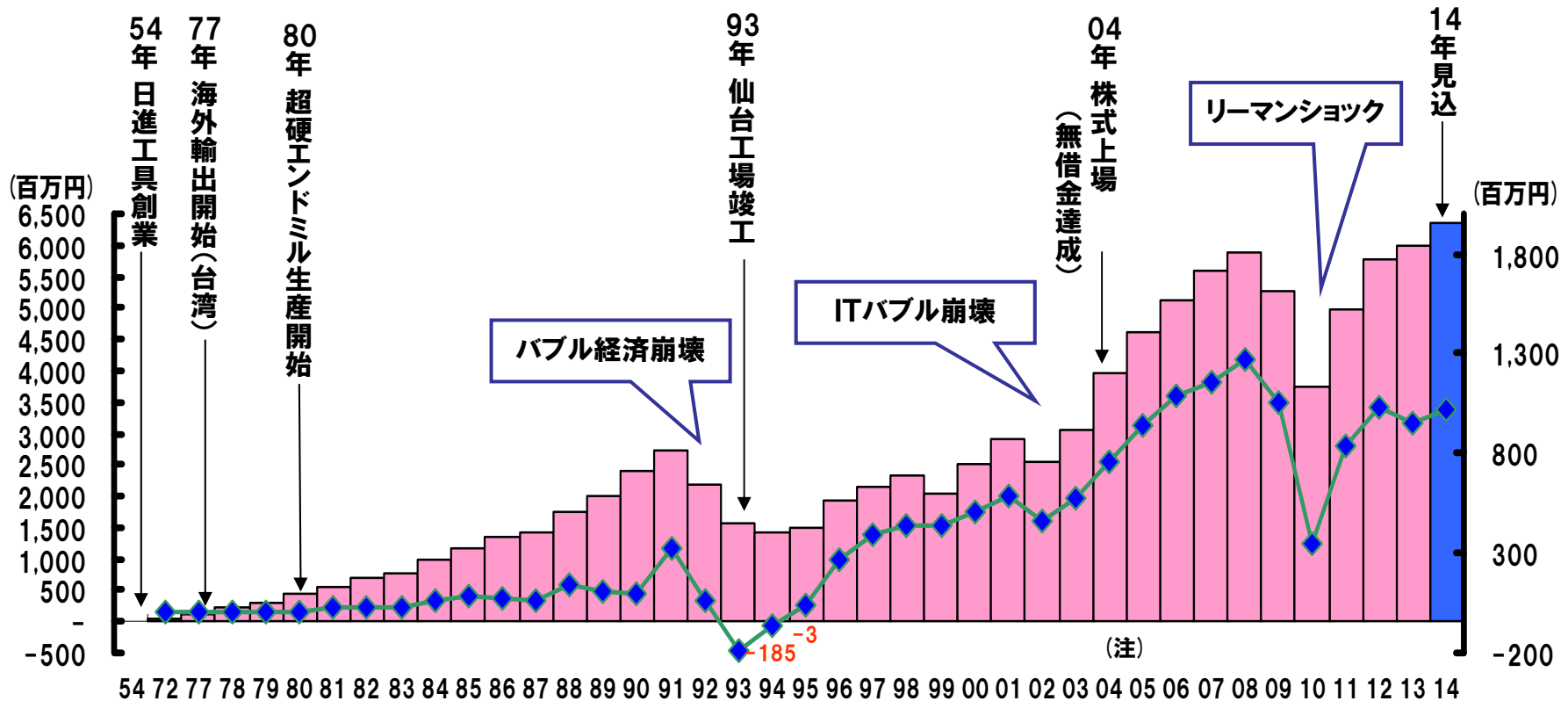
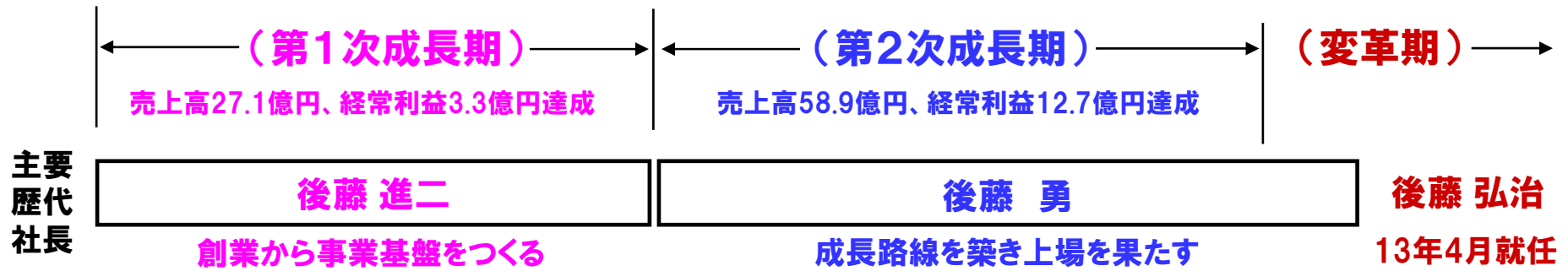
メニュー項目

ワンクリックで各メニューの詳細ページに移動できます

URL: <http://www.ns-tool.com/ir/>
当社に関する一層の理解を深めていただくためにも是非ご活用ください

<参考資料>

①創業時からの売上高・経常利益推移



(注) 2002年は7ヶ月決算だが、12ヶ月分に換算

売上高(左目盛)

経常利益(右目盛)

<参考資料>

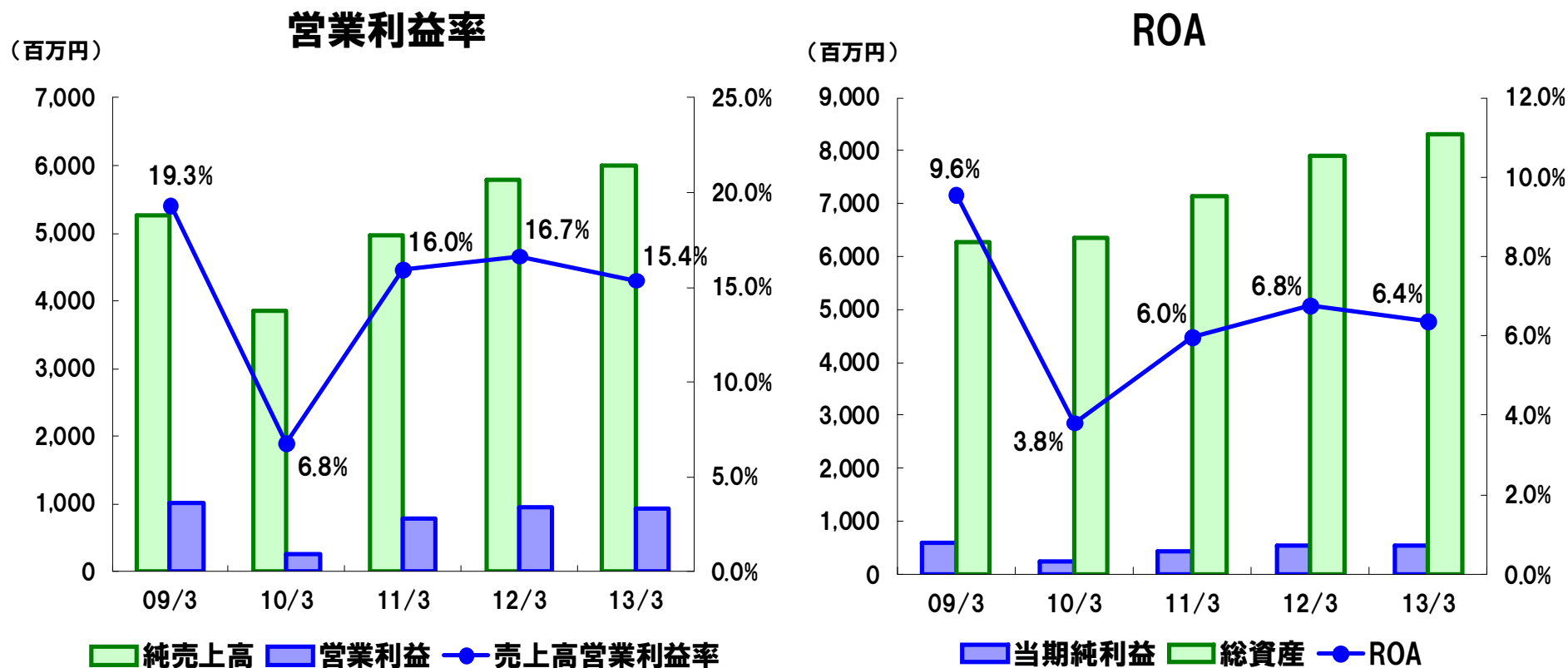
②過去5年間の業績と主要データの推移

(百万円)

	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期
売上高	5,251	3,857	4,977	5,781	5,997
経常利益	1,052	361	834	1,032	951
当期純利益	598	242	426	535	527
有利子負債額	0	0	0	0	0
純資産額	5,649	5,784	6,164	6,678	7,106
総資産額	6,265	6,363	7,143	7,906	8,297
自己資本比率	90.2%	90.9%	86.3%	84.5%	85.6%
設備投資額	902	386	274	1,051	1,001
減価償却費	453	491	440	471	563
1株当たり 配当金	35円	15円	25円	35円	39円
従業員数	205人	205人	206人	232人	281人

<参考資料>

③収益性（売上高営業利益率とROA）

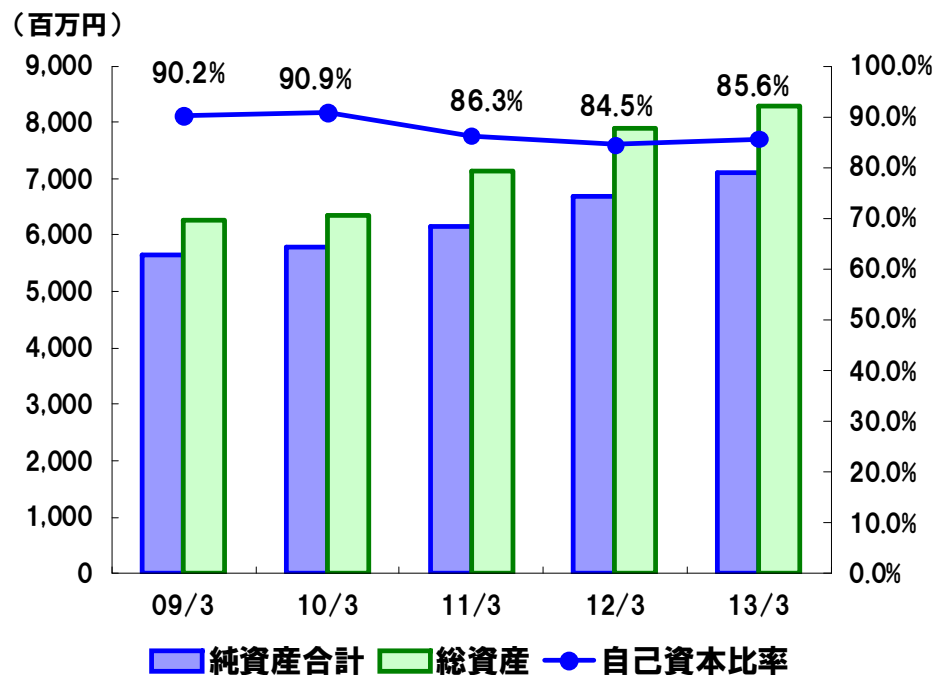


リーマンショックを境にして回復傾向、ただし13/3期は子会社の先行投資等から利益が伸び悩み、営業利益率、ROAとも前期比マイナスであった。14/3期は子会社新工場に対する補助金支給等製造経費の圧縮が見込まれ、営業利益率・ROAともに改善を見込む。

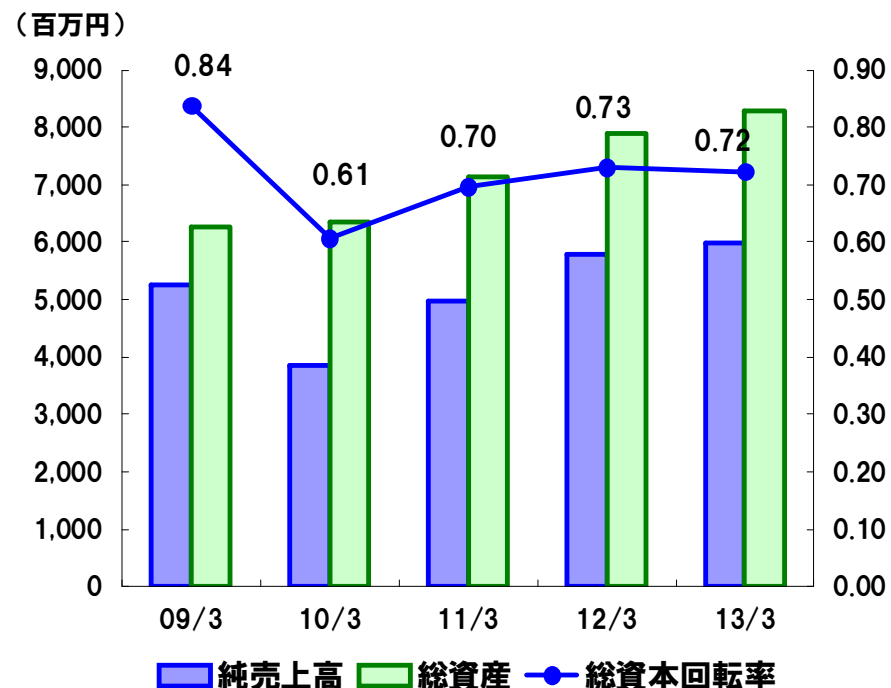
<参考資料>

④安全性、効率性（自己資本比率・総資本回転率）

自己資本比率



総資本回転率



連結子会社の増加により総資産が増えたが、自己資本比率は85%の高水準を維持。総資本回転率もリーマンショックの影響で低下した後、徐々に回復。ただし13/3期は売上拡大が鈍り前期比0.01ポイントの減少。

2014年3月期のIR活動目標

日進工具株式会社 IR活動目標（2014年3月期）

1. 企業の認知度向上に努め、事業内容の理解促進に注力いたします。
 - ◆ 個人投資家向け説明会を年3回以上開催いたします。
 - ◆ アナリスト・機関投資家向け決算説明会を本決算・第2四半期決算の年2回開催いたします。
 - ◆ 個人投資家向け説明会、アナリスト・機関投資家向け決算説明会で使用したIR資料や質疑応答の内容については、可能な限りウェブサイトに掲載して広く公開いたします。
2. 企業理念並びに経営戦略を、情熱を持ってお伝えいたします。
 - ◆ 個人投資家向け説明会、アナリスト・機関投資家向け決算説明会については、すべて代表取締役社長の後藤弘治が直接説明し、すべての質問に回答いたします。
 - ◆ アナリスト・機関投資家との個別取材については、すべての取材依頼に対応いたします。
なお、取材の際は代表取締役社長の後藤弘治またはIR担当役員の田島寛のいずれかが必ず対応いたします。
 - ◆ 日進工具の企業価値や事業戦略を理解していただけるよう、明快なIRツールの提供を目指し、説明会で使用するIR資料並びにウェブサイトの改善に取り組みます。
3. 中長期のステークホルダーを増やし、株主満足度向上に邁進いたします。
 - ◆ 株主・投資家の皆様の声を経営にダイレクトにフィードバックし、企業価値の向上に努めます。
 - ◆ 電話やメールでのお問い合わせについては、原則としてすべてに対応いたします。
なお、多く寄せられる質問につきましては、ウェブサイトのFAQコンテンツに掲載し、広く公開いたします。
 - ◆ より多くの株主の皆様にお越しいただけるよう、株主総会を土曜日に開催いたします。
なお、株主総会では原則としてすべての質問に回答いたします。
 - ◆ 株主の皆様は、配当性向に配慮しつつ業績に応じた適切な利益還元を実施いたします。

IR活動の実践状況について

(2013年12月末)

◇ IR体制

- トップ直轄の体制
- 社長（後藤弘治）－ 執行役員（田島寛）－ IR担当（今関弘毅）

◇ 主要IR活動

- 2014年3月期のIR活動目標の対外的公表（2013年5月13日発表）
- 個人投資家向け説明会（11月29日開催）
- アナリスト・機関投資家向け説明会（5月28日開催 / 11月27日開催）
- アナリスト・機関投資家向け個別取材対応
- 決算説明資料の充実とレベルアップ
- ホームページのリニューアル 継続
- 株主総会の土曜日開催（2013年6月22日）

お問い合わせ

日進工具株式会社

執行役員管理部長 田島 寛 / IR担当 今関 弘毅

TEL : 03-3763-5672

FAX : 03-3764-8225

E-mail : ir@ns-tool.com

将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、
確約や保証を与えるものではありません。
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。